

亞州遊客在京都

代表者 井上 一史

企画概要 アジア（特に中国・台湾・香港）からの旅行者は京都という観光地に対してどのような想いや期待、そして感想を抱いているのか。これらの点について具体的項目を設定して調査を行い総括して京都市観光局へ今後の観光地京都としての発展の為の意見を提案する。

結果報告 国籍、性別、年齢、滞在期間、食べ物、交通、物価、訪問地、店の従業員の態度、京都の印象など27項目の質問を用意し、清水寺・平安神宮・京都駅前・西陣織会館で2,3人ずつに分かれて直接声をかけ（中国語で）アンケートを行なった。

感 想 まず当初思っていたよりも観光客の警戒が強く、また私たちの語学力も未熟であった。観光客にも個人で来ている人と、ツアーを利用した団体の人があり、個人で来ている人達は割と気さくで警戒心が弱かったが、ツアー客は時間に縛られておりなかなかアンケートをすることができなかった。それから食事をする際のメニューにもっと英語や中国語のものを用意してほしいという意見や、観光案内所に中国語を話せる人がいないので不便だ、という意見があり、まだまだ改善すべき点があるようだ。交通に関しては一日乗車券など評判がよく、便利であるという意見が多かった。

今回の活動は予定よりかなりアンケートの数が取れず、プレゼンテーションで言ったことが結果的に嘘になってしまった。原因是色々あるが、一番は無計画だったことだろう。中国の休日に合わせた長期的な計画を立てて、ゼミのメンバーももっと組織的に、またある程度のノルマを与えてすれば良かったのではないかと思う。反省すればきりがないが、ゼミの後輩が今後この活動を続けて行きたいと言っているので、今回の経験を踏まえて実行してほしいと思う。